

2024年度 第1回 運営推進会議

2024年09月09日(月)

認知症対応型通所介護

越谷なごみの郷

開催場所：C館 多目的室

運営推進会議の趣旨

I. 運営推進会議の目的

1. 事業所運営の透明性の確保
2. サービスの質の確保
3. 事業所による「困り込み」の防止
4. 地域との連携の確保

II. 地域密着型サービスの役割

- ① 本人本位の支援
- ② 継続的な支援
- ③ 地域で暮らし続けることの支援
- ④ 地域との支えあい等を理念とする地域密着型サービスは、入居者・利用者のより良い暮らしを着眼点に本人と地域との関係を断ち切らない支援

上記の役割を担うため、事業所と地域との良好な関係を築き、事業所が提供するサービスが、住民ニーズに即した価値のある地域資源として機能していく必要がある。利用者がどのような暮らしを望み、これからサービスを利用するかもしれない住民が何を期待しているのかを知らなければならない。

運営推進会議は、事業所と地域との関係をつなぐ一つ的手段であり、地域密着型サービスを‘事業所と地域住民とが一緒に育てていくことを目的に行っていく。

認知症対応型デイサービス

● 4月～9月までのまでの状況

新規利用者	契約終了者	在籍者
0名	1名	12名（男性3名・女性9名）

2024年度稼働目標と進捗状況

年間の稼働率目標は52%に対し、前期の稼働率実績は34.8%となっている。昨年対比114%と伸長しているものの、依然厳しい状況は続いている。これは、認知症対応型通所というカテゴリーに関して、居宅への理解が深まっていないことや、重い認知症状を持ったご利用者がサービスを利用する際に、従来型に比べ単位数が高く、様々なサービスと併用すると単位数を超えてしまい利用回数を増やしたくても増やせないといった声も聞かれるため、新規紹介に躊躇していると思われる。今後、従来型との併用利用や、異動なども視野に入れていきたい。

●平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
85.4歳	3.15

●職員体制

入職者・異動職員	退職者・異動職員	職員数
入職者＝0名 異動者＝0名	0名	5名 (管理者、兼務職員、運転職員含む)

●事故・苦情の発生状況

種別	件数	事象	内容
0			
0			

2024年度の目標と進捗状況

予防の視点を強化し、介護事故を未然に防ぐ、および車両事故、危険運転を無くす。

車両事故は起こっていないものの、ドライブレコーダーによる危険運転報告(急ブレーキ、急ハンドル、急減速など)は月ごとに数回発生している。危険回避のための措置も見受けられるが、交差点や横断歩道近くでの減速など「～かもしれない運転」の徹底を図っていく。今月度以降、運転者に対する安全運転講習も実施されるため、再度安全運転に関する意識を高める機会にしたいと考える。

●教育・研修等

活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーアレンジメントや季節ごとの工作。個別の活動。 ・敬老会を開催
会議等	正規職員・相談員間で行う 朝礼での情報共有
研修	法令に沿った各委員会での研修 個別の選択研修

●ご家族からの声など

	内 容
喜びの声	敬老の日を迎え、手作りのプレゼントの作成や、職員の出し物の練習を重ね、当日は大盛況で終了した。ご家族から感謝の言葉を多数頂戴した。

2024 年度の目標と進捗状況

ご利用者およびご家族の「満足度」を向上させる取り組みを提案し実施する

DS の目的の一つである「在宅生活の継続」が出来るように、重い認知症状をお持ちのご利用者でも介護者に寄り添いながら、ご要望にお応えする事や支援に関するご助言などを通じて、介護者との強固な信頼関係が築けている。今後も個別対応が多い特性のある部署であるため、少しの変化でも介護者やケアマネジャーへの報告を行い、三位一体の支援を行う。

運営推進会議の会議録

会議名称 : 2024年度 第1回運営推進会議
事業所名 : 越谷なごみの郷
サービス種類 : 認知症対型通所介護
会議開催日時 : 2024年9月9日(月) 10時00分 ~ 10時30分
会議開催場所 : 越谷なごみの郷

《運営推進会議出席者》

利用者	名
利用者家族	名
地域住民の代表	名
知見を有する者	名
地域包括支援センター職員	1名
事業者	6名

《議題》

- 運営推進会議構成員の紹介
- 2024年4月～2024年9月までの活動状況の報告

《運営報告・活動状況等の報告》

○資料参照

《ご家族や参加者からの要望、助言、意見等》

参加者からの要望やご意見等 なし
ご家族からの要望やご意見等 なし

《次回の会議》

○ 次回議題

- ・活動、状況報告
- ・運営等についての意見交換
- ・地域密着型サービスの主旨に基づいたサービス提供ができているかを基本に、地域活動を含め協議していく。